

白 い ま ど

June 2017年 6月1日発行 No.444

6

特集 **がん**に克つ! ⑧

ちゅう いん とう

中咽頭がん P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介
耳鼻咽喉科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト
言語聴覚士 P-6



病院理念 私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

がんに克つ!

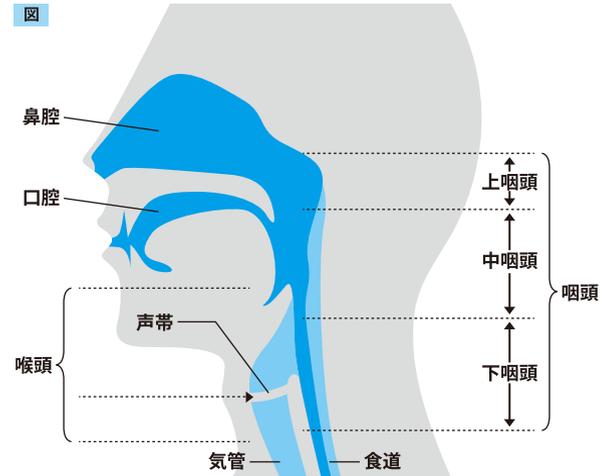
8

中咽頭がん

日本人の2人に1人が一生のうちには一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

▶ **人間の** 「のど」は、咽頭と喉頭からできています。このうち咽頭は鼻の奥から食道までの食べ物と空気が通る部分で、上咽頭、中咽頭、下咽頭に分かれています。■ 中咽頭は、発生する組織や細胞の由来によっていくつかの種類(組織型)があります。粘膜上皮から発生する「扁平上皮がん」のほか、「悪性リンパ腫」、粘膜下に存在する付属腺から発生する「腺がん」などがあり、最も発生頻度が高いのは、扁平上皮がんです。かつては中咽頭がんで受診される患者さんの多くが進行がんであり、治療は身体に負担がかかる手術をせざるを得ないため、術後に嚥下障害や構音障害が残りました。しかし、最近では診断技術の発達により初期で見つかる例が増えました。また、子宮頸がんなどで言われているヒトパピローマウイルス (HPV) との関連が研究され、術前

図



診断の免疫染色により、小さな手術と抗がん剤や放射線で根治できる症例を予測できるようになってきました。現在では、症例ごとにオーダーメイドで治療を進めることが重要ながんの一つとなっています。

▶ **当科** では、中咽頭がんの患者さんには免疫染色や遺伝子解析を行い、可能な限り最先端の治療を患者さん一人一人に応じて丁寧に対応しています。がんを身体から追い払うためには、歩調を併せて治療をやり遂げることが必須です。治療法にはいろいろな選択肢がありますが、最善と思われるものをお勧めすることは当然です。



しかし、最善が最良とは限らないため、「疾患ではなく人間を診る」ことも大切で^{とうけいぶ}す。頭頸部がん専門医は全国におよそ300人強ですが、実際に診療に当たっているのは200人ほどです。当科では2名の頭頸部がん専門医の指導のもと、中咽頭がんについても最新の知見を取り入れて日々治療を行っています。

文責：耳鼻咽喉科 部長 袴田 桂

さらに詳しい情報などを、YouTubeの「聖隷浜松病院チャンネル「白いまど」」で配信しています。ぜひ、ご覧ください。

YouTube 聖隷浜松病院 白いまど 検索



インフォメーション

『術中ナビCTシステム』、導入しました

東海地方初!

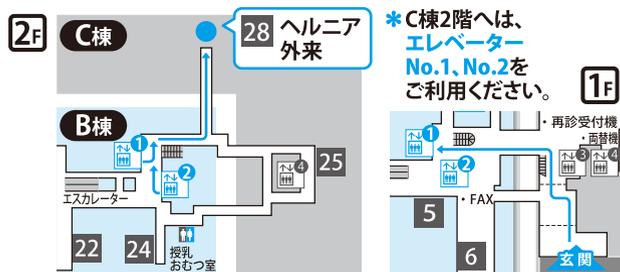
「手術室CTへの自動レジストレーション機能搭載ナビ」

- 主に脳腫瘍、脳出血、てんかん外科など幅広い手術で使用。特に脳の深いところにある腫瘍や、境界がわかりにくい腫瘍、病変と重要な正常組織が隣接している場合には、非常に有用です。
- 自動レジストレーション※機能が搭載され、患者さんへの負担がより少なくなり一層の安全性と正確性が確保されました。



※患部と画像の位置を自動で合わせる。

6月よりヘルニア外来が、C棟2階28番受付に移転します



SEIHAMA Wi-Fi

無料でWi-Fiをご利用いただけます!

- 無線LANを利用したインターネット接続をご利用いただけます。 ※詳しくは、i案内・サービス案内チラシ(院内掲示)にてご案内しています。

新任
医師紹介



救急科
まきし こう
真喜志 剛

奈良県立医科大学
(2009年卒)

耳鼻咽喉科

患者さんの“穴”をのぞいて診察！

耳鼻咽喉科は、「穴をのぞく」診療科です。「お医者さん」の絵を見ると、額帯鏡というヘアバンドに反射鏡がついた道具が描かれています。これを使うのは耳鼻科医だけです。当院のような総合病院などでは、鎖骨から上の眼球、歯、脳、背骨を除く器官を扱う外科「頭頸部外科」としての役割が重要になってきます。

当科では、難聴やめまいのほか、甲状腺・頭頸部・口腔の良性腫瘍やがん、顔面神経麻痺や顔の外傷など、一般の耳鼻咽喉科では十分な対応が難しい疾患も取り扱っています。そのような患者さんのみならず、診療所や近隣病院の先生方のニーズに細かく応え、全ての耳鼻咽喉科疾患の終着駅としての役割を果たすべく、今後もスタッフ一同努力していきます。



文責：耳鼻咽喉科 部長 袴田 桂 (写真前列中央)

診療を支える
スペシャリスト

言語聴覚士

子育ての
よき応援団



「話す」、「聞く」、「表現する」、「食べる」、誰でもごく自然に行っていることが、病気、事故、加齢などで不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいらっしゃいます。言語聴覚士はこのような方々が自分らしく生活できるようにサポートします。

当院では、お子さんへの支援も積極的に行っています。「聞こえにくい」、「ことばが遅い」、「正しく発音できない」、「なめらかに話せない」など、一人一人のお子さんの状態に応じて、聞き取りや発音の練習をしたり、遊びを通してわかることやできることを増やすなどのきめ細かな指導を行っています。お子さんのことばの発達について心配ごとをお持ちの方はご相談ください。

文責：リハビリテーション科 石原 成典 (写真中央)、春藤 健丈



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,400円(税込)を別途ご負担いただいています。

また予約時には、原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜9:00～16:45)

面会の方へ

面会時間…(月～土曜)14:00～20:00、(日曜・祝日)10:00～20:00

- 小児科病棟の面会者はC棟1階で手続きをお願いいたします。
- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

5月1日より原則、平日8:30～17:00 となりました。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 鳥居 裕一